

RCCニュース No.72(2011年5月号)

発行；RYUKENマテリアルフロー研究センター
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-47-6 流通研究社内
TEL.03-3988-2671 FAX.03-3980-6588 URL http://www.ryuken-net.co.jp/

RCC 雑記帳／特別寄稿 (2)

これからは“生活物流”の時代
～物流企業の経営理念を問う～

RCC 所長 真島良雄

2. 生活物流の提案理由と定義 (仮)

私は、「物流は従来主として企業サイドの主体的発想のもとに、企業経営合理化の一環として進歩を遂げてきており、最近では顧客満足の向上が重要目的に加わってはいるが、発想の基本はなお企業サイドからする、物流分野に限定された発想に留まっている」と考えている。

しかし私のつぎの経験・情報から考えると、上述の発想だけではこれからの時代の要請に充分対応できないのではないかと危惧している。

〈経験・情報〉

- (1) 東京都の視察船「新東京丸」に乗船して、東京港の物流に果たす役割を勉強する中で、われわれの生活物資の物流に関して東京港がいかに大きな役割を果たしているかを学んだこと。
- (2) デパートの食料品売り場で購入した食料品を持ち帰るのに、高齢のため家内と苦労した経験。
- (3) 子供2人を抱える長女一家4人と同

居しているが、子供が小さいときは主婦は日常生活必需品の買い物と持ち運ぶに大変苦労していたこと。

(4) 少子高齢化社会が現実になると、日常の生活必需品(衣・食・住)の調達はもちろんのこと、医療、介護、子育て、教育、安全・安心などの確保が生活者の幸福にとって重要問題であり、そのニーズの本源は基本的には生活者にある。

この場合、物流関係者だけの努力で全ての分野にわたる全ての問題を解決することは不可能であるが、生活者の本源的ニーズを把握したうえで、異分野の専門家や関係者と連携すれば、物流単独で活動するよりも幅広い問題を解決して、生活者をより幸福に導く可能性が高まると考える。

これまでの物流は、医療、介護など異分野の専門家や関係者との連携は、少なかったように思う。

(5) 2011年2月5日付日本経済新聞夕刊に、「乳業大手が家庭への牛乳配達網を活用した商品販売やサービスを展開

する」との記事が掲載された。

同記事によれば、サービスは高齢者の安否確認などで、乳業各社が契約している牛乳の販売店は全国に約9000店あり、顧客は中高年や親子世帯が中心で、都市部の一人暮らしの高齢者も多いとのことである。

この例は私が提案する生活物流の一つの具体的なモデルと考える。

(6) 2011年2月27日付日本経済新聞に、2月12～13日に開催された「京都環境文化学術フォーラム」の記事が掲載されている。その中でブータン王国女王ケサン・チョゼン・ワンチュク氏が基調講演を行い、「国民総幸福(GNH)はブータンの基本理念だ」と述べておられる。

当該記事によれば、ワンチュク前女王は物質的な豊かさを示す国内総生産(GDP)ではなく、国民全体の幸福度を示す国民総幸福(GNH)の理念を1980年代に提唱されている(図表)。

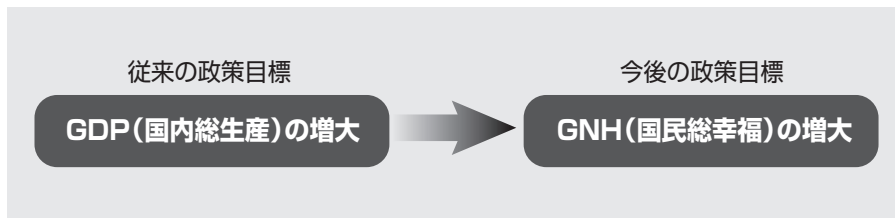
さらに2011年3月8日付日本経済新聞は、「中国の重慶市他で、5カ年計画でGDP偏重を見直し、市民の幸福感(幸福指数)を国内で最も高い地区の一つにすることを政策目標にすると明記した」と伝えている。

上記(5)をも勘案すると、これからの顧客満足は「生活者の幸福の増大に幅広く貢献すること」と理解したほうがベターではないかと考える。

生活物流の概念については、後で消費者物流との比較などを通して、より明確にしたいと考えているが、ここでは仮説として「生活者の幸福の増大を目的として、生活者の生のニーズを把握して、これに対応すべく異分野の専門家や関係者と連携して展開する物流をいう」と定義しておきたい。

(つづく)

図表 ワンチュク・前ブータン国王の提唱 (1980年代)



〈ロジ検講座〉ニュース

ロジスティクス検定合格講座、 新年度受講生受付中!

◆年間5000人受験のNo.1検定

ご案内している通り、中央職業能力開発協会(JAVADA)が厚生労働省の施策方針を受けて実施している「ビジネス・キャリア検定試験/ロジスティクス管理・オペレーション(2級・3級) (略称・ロジスティクス検定試験/ロジ検)の2011年度試験スケジュールが決定されました。

ロジ検は07年のリニューアル開設以降、「人材育成」を喫緊のテーマとする荷主企業のロジスティクス・物流関連部門と、ロジ・物流関連企業に徐々に浸透し、毎年受験者が拡大。この2月に後期試験が行われる2010年度の受験者は、前期と合わせてロジ4科目だけで約5000人となりました。

ロジスティクス・物流分野において、もとより唯一の「公的検定資格」であるばかりでなく、受験者・合格者数でも圧倒的な国内No.1の検定試験に成長を遂げたと言えるでしょう。

荷主の立場のロジスティクス管理全般を学ぶ「管理」、物流現場・物流事業者の視点で管理を学ぶ「オペレーション」の両科目で、それぞれ3級(新任者～係長候補が主対象)と2級(課長候補が主対象)が設定されています。

◆来年度講座の受講生募集開始

これを受けて、流通研究社/RCC・ロジ検講座事務局でも講座日程計画を策定。4年間の講座担当経験と輩出した合格者数No.1の実績で定評のある流研/RCC講師陣による検討を経て、2011年度も前期・後期にわたりロジスティクス検定合格支援講座(略称・ロジ検講座/BC塾、教室型)を開講することを決定しました。

本講座は、厚生労働省・JAVADAが策定したカリキュラムと標準テキストに則り、検定合格はもちろん、ロジスティクス・

物流関連部門の人材教育に最適な、実践教育プログラムを編成しています。

受講企業の人事部門において、本講座を新年度の物流教育計画に組み込めるよう、事務局では2月から募集受け付けを開始、すでに前期・3級講座では定員の半数近い申込みが入っています。

ロジ検講座の概要は以下の通りで、さらに詳しい内容は本号77ページのパンフレットに記載してありますので、ご確認のうえ、お早めにお申し込み下さい。

■JAVADA 2011年度BC/ロジ検定試験の実施概要

[試験日時]

前期:2011年10月2日(日)

後期:2012年2月19日(日)各110分

[試験内容]

3級:マークシート方式による4択肢問題…40題

2級:マークシート方式による5択肢問題と事例等に基づく応用問題…計40題

[合否基準]

概ね正答率60%以上

*受験資格は特にありません。

[受験料]

3級:各5,500円(税込)

2級:各6,800円(税込)

*本講座の受講料には含みません。

●流研/RCC 2011年度「ロジスティクス検定合格支援塾」の実施概要

*前期・3級講座(管理、オペレーション)…2011年6月下旬～9月下旬

*後期・2級+3級講座(管理・オペレーション)…10月下旬～2月上旬(年末年始除く)

・各週1回、13時～17時

・講座会場…東京都豊島区・池袋にて

[受講料]

3級1コース1名様:109,200円(税込=講座1時間当たり2,000円基準)

3級1コース1名様:126,000円(税込=上記+問題作成・特別講義費用)

■助成金が利用可能です

本講座の受講に際しては、厚生労働省と独立行政法人 雇用・能力開発機

構が進める「キャリア形成促進助成金制度」を活用できます。

これは雇用保険の被保険者である従業員を対象に、職業生活設計に即した自発的な職業能力の開発および向上を目的に、年間計画に基づいた教育訓練を実施した場合、費用の一部が助成される制度。本講座の受講企業でも活用例が出ています。

キャリア形成促進助成金の種類、対象となる事業主、支給要件、支給内容などの詳細については、独立行政法人 雇用・能力開発機構(TEL.0570-00154)までお問い合わせください。

*注/新年度の助成金実施は、国会での関連法案通過により決定されます。

◆物流センター長研究会が報告書、学会発表

昨秋活動を終了したRCCの物流センター長研究会がこのほど、研究成果をまとめた報告書「これからの物流センター長の役割」(定価630円)をまとめ、流通研究社から発刊されました。左頁のWEBサイトから目次確認・注文が可能です。ぜひご覧下さい。



また同研究会では4月23日(土)、東京海洋大学で開催の日本物流学会第7回ビジネスセッションにおいて、研究成果報告を行う予定。その模様は次号でご紹介します。

◆RCCサロンは5月に

3月号本コーナーで開催予告した3月度RCCサロン「もしドラッカーが物流マネジメントを語ったら～これからの物流経営の話をしよう～」は、東日本大震災の発生を受け、延期させて頂きました。5月には開催の予定で、スケジュールが決まり次第、上のWebサイトとメルマガでご紹介しますので、ぜひご参加下さい。

MF